

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	755-6000
部 名	生涯学習部	課 名	大野台公民館	課長名	福来 規
事務事業名	公民館まつり				
予算上の事務事業名	公民館活動費大野台公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				平成6年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
社会教育法第20条					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	大野台公民館事業計画		年度当初に大野台公民館運営協議会において年度事業計画を定め、実行委員会を組織し、事業を実施している。		
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
<p>地域住民が生涯に渡り健康で生き甲斐のある生活を送るため、単なる「祭り」ではなく、文化祭を発展させたかたちで、公民館活動のすべての領域にわたる学習、文化、体育、レクリエーションの総合的な展示、発表、交流の機会とする。</p> <p>地域のまつりとして、公民館利用サークルをはじめとして、地域で活動している団体、個人の日頃の活動の成果を発表し地域に還元をする場、及び、活動の輪を広げるため、地域住民が、団体、サークルの活動と接し、楽しむ場とする。</p>			<p>公民館区内の団体、住民及び公民館利用サークル</p>		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>・地域住民が主体となり実行委員会を組織し、活動発表部門、展示部門、模擬店・パザール部門に分け公民館全館を使用し、2日間開催。</p> <p>子どもを対象とした工作教室、二胡演奏や囲碁将棋の体験講習、音楽会の開催</p> <p>公民館専門部や公民館利用サークル・団体による活動発表及び作品展示</p> <p>館区内住民の文芸、美術品等の作品展示</p> <p>模擬店パザールの実施</p> <p>・実行委員数：112名</p> <p>・参加者数：個人数 21名、団体数 55団体</p> <p>・入場者数：1,500名(2日間)</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
市内23公民館において、同様な目的で実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	130	125	125	115	115
一般財源	130	125	125	115	115
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	988	956	653	487	487
事業コスト合計(a)	1,118	1,081	778	602	602
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	大野台公民館まつり			対象名称(単位)	来館者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,118,425	1,080,700	777,730	602,365	602,365
対象数	1,900	1,600	1,500	1,800	2,000
単位あたり経費(円)	588,645	675,438	518,487	334,647	301,183
前年度比		1.15	0.77	0.65	0.90

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	来館人数		指標式と指標の説明	来館者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,900.0	1,600.0	1,500.0			
目標	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,500.0	2,500.0	
目標達成度	0.95	0.80	0.75			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	住民の生涯学習への意欲度 (%)		指標式と指標の説明	生涯学習に意欲のある人/館区内高校生以上の住民 生涯学習に意欲のある人の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	18.8	10.5	9.8			
目標	13.0	13.1	13.1	16.4	16.4	
目標達成度	144.6	80.2	74.8			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
<b>B</b>	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
<b>B</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
<b>B</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
<b>無</b>	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
<b>拡充・充実</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		住民一人ひとりが生涯にわたり健康で生き甲斐のある生活を送るため、住民自らが主体的に取り組む生涯学習の充実・拡充や学習機会の提供に努める必要がある。知識や経験をもつ地域内の多様な人材の発掘に努め運営体制と事業内容の検討をしていく。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
地域住民により実行委員会を組織し運営しているが、まだまだ公民館主導のまつりの色彩が濃く、公民館利用サークルや地域住民による地域まつりにはまだなっていない。公民館まつりが、地域住民の生涯学習への意欲を促すためには、地域に広がりをもったものでなければならず、多くの住民や関係団体へ積極的な呼びかけが必要である。			経費の大部分を人件費が占めていることから、実行委員会組織を充実させ、経費の削減を図る。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
<b>現状維持</b>	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		地域との連携を強化し、事業効果を高める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				